

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	クロスサービス	代表者	森 一哉	法人・事業所の 特徴	ご利用者一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、ご利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援する
事業所名	小規模多機能ホームてとて	管理者	西森 洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	5 人	2 人	4 人	1 人	2 人	2 人	人	17 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> 記録上、どの人が常勤スタッフかが分からなかった 一つ一つを丁寧に表記している 自己評価は来年度も同じ手順で取り組んだらいいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価項目に対する理解を深める(職員・会議参加者)ための勉強会の実施
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> 短時間見ても現場の事は分かりにくい いつも明るい雰囲気 不快な音や臭いはない 利用者がカレンダーを作っており、季節感があっていい 南向きなので、光が入っていい 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の方が職員の名前と顔が一致するような仕掛けや工夫をする→訪問時には名札をつける
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> 職員はあいさつができ、雰囲気も良い 職員同士が仲がいいのが伝わってくる 地域の方に認識されているのではないか 利用者だけではなく、地域の人も足を運べる関わりをしていけないだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板で地域の情報や行事が分かるので、地域の理解と行事に参加する やまびこ広場での発信を続け、来てもらった人が見学できるように声を掛ける
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> 地域で利用者を見かけることがある 送迎時に気に掛かる家や人がいれば、確認をしたり、気にかけてくれるだけで地域の力になる 近所のことは近所の人が良く分かっているので、情報を得た方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ご近所へのあいさつをきっかけに、気軽に話しかけてもらえる存在になる
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> てとてライン(事業所新聞)は読みやすく、写真・字もわかりやすいので、続けてほしい 事業所としては、今後は管理者だけでなく、職員の参加を計画している 事例検討することで事業所の理解が深めるのではないかと運営推進会議について十分理解ができていないので、市役所から説明してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討 地域の方に意見を頂きながら地域マップを作成する 管理者以外の参加 運営推進会議・外部評価についての勉強会→松山市介護保険課へ依頼
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は毎月10日に火災や地震など様々な場面を想定して実施している 通いの顔ぶれは曜日によって違うので、いろんなケースで実施してほしい 避難所では認知症がある人は過ごしにくいと言われていたので組合や協会などに相談・提案してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を定期的に続ける 避難場所や環境についての情報収集をする

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月17日 (19:30~19:55)
------------------	-----	---------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 久米 栗国 高須賀 戸井 西森
-------------------	------	--------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7	3	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	4		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	7	3		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	7		11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
新規利用者に関しては、管理者及び計画作成担当者が、利用者情報をまとめ、資料を提示している。また、ミーティングで詳しい情報を伝えている。利用開始後は、ゆっくりと話を聞き、様子を観察、少しでも早く事業所の環境に慣れて頂けるよう努力している。送迎など1対1の場面を作り、ご本人の思いを伺うようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
初期にご家族との関わりが持てていないことが多い。独居の方や、送迎、訪問の際にお会いできないご家族に関しては、関わる時間が少なく、ご家族のニーズを含めた情報をサービス利用時に事業所全体で把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
初期の送迎や訪問の際に、情報を持っているスタッフと同行する際に、詳しい情報を得る。同行してもらったスタッフは、次に同行を担当する際に他のスタッフにも得た情報を伝える。書面だけではなく、管理者や計画作成担当者から、必要な情報を直接聞く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年10月17日 (19:55 ~20:15)
------------------	-----	----------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 久米 粟国 高須賀 戸井 西森
--------------------------	------	--------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		3	7	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	3	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	5	3	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	2	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当面の目標を元に日々の取り組み(アクションプラン)を作り実施し、その関わりを通して得た「気づき」を毎日記録している。アクションプランに関しては、利用者の「～したい」を組み込むようにしており、月に1度モニタリングし、その時、その時で利用者にあった関わりができるようにアクションプランを見直している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランについてのスタッフの共通理解ができていない。スタッフがくみ取った利用者の「～したい」が、実際の「したい」内容なのかがあいまい。日々の利用者の訴えや行動がスタッフ全員に伝わらない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
記録の制度を上げることで、日々の「～したい」を全員が拾えるようにする。 ⇒記録の書き方に関する勉強会をする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (19:58~20:04)
------------------	-----	---------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	6	4	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		10	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	5	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		9	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	5		11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
通いの利用者に対しては、検温を通じて、体調チェックを行っている。体調の変化があるときは、速やかに家族、かかりつけ医、訪問看護師へ報告、相談し、対応できている。利用者の情報は、申し送りや業務日誌(連絡事項を記入)で共有し、対応している。本人の残存機能を最大限に発揮できるような関わりを持つようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
スタッフ個人が得た情報を全員で共有することができていない。特に訪問では、1スタッフがかかわるため、情報の共有が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
訪問時の情報をまとめ、全員が把握できるツール(書式)を作成し、活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (20:04~20:07)
------------------	-----	---------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
---------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	8		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	7		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	6	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5	5	11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
送迎や訪問の際の機会にご家族と話し、情報を得ている。連泊中でも一時帰宅などで、ご家族と過ごす時間がもてるようにしている。病院の同行で、医療スタッフとの関わりを持ったり、利用者の馴染みの場所やお店などに他の利用者と共に行き、関わりを継続できるよう努力している。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域にある資源を理解していない。ご本人の思いは常に理解しようと関わっているが、ご家族の思いを知る機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族会議を開催し、ご家族の思いや悩みを共有し、家族間の交流を持つ機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (20:07~20:09)
------------------	-----	---------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
----------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	8		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		11			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	9	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8	2		11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 送迎や訪問の時間は、できるだけ利用者、ご家族の意向に沿うようにしている。急なサービス変更(通いの変更、泊り)などにも対応している。併設している事業所との交流があり、イベントにも参加している。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること 事業所外の地域資源についてほとんど知らない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 運営推進会議で、地域の皆様に協力を得ながら、地域マップを作成し、活用する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (20:09~20:12)
------------------	-----	---------------------------

6. 連携・協働	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
----------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		2	4	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	1	7	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		2	1	8	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	5	4	10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 併設している事業所との交流があり、日常的に自由に行き来している。医療スタッフとは、入退院時や必要時に連携を取り、カンファレンスなどで、利用者の今後について話し合い、対応している。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること 他との連携に関しては、一部のスタッフのみが関わり、把握できていないスタッフが多い。地域の活動やイベントに関する情報が把握できず、地域との関わりが持っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新聞などに入っている地域の日程表の活用。回覧板を回してもらい、地域の情報を得る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (20:12~20:15)
------------------	-----	---------------------------

7. 運営	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
-------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		3	5	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	2		11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	6	2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	4	3	8

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
利用者やご家族からのクレームや意見に対しては、速やかに対応し、内容を紙面に起こし、スタッフ全員が把握、対応できるようにしている。ヒヤリハットノートを活用し、日頃のちょっとした気づきを共有できるようにしている。年に1度ご家族からアンケートをとっている。やまびこ広場など、地域ボランティアの方たちとともに地域の方たちの活動の場作りをしている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
普段の言葉でのやりとりはできているが、会議などでの発言は乏しい。地域の方と関わる機会が少ない。地域の会議やイベント、運営推進会議には管理者や一部のスタッフしか参加した事が無い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議や家族会議へ交代で全スタッフが参加できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (20:15~20:17)
------------------	-----	---------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
-----------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	2	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	2	3	11
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	2	6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	3	4	3	11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
全スタッフが希望した研修に参加している。様々なテーマの研修に参加し、他事業所のスタッフと意見交換ができ、スキルアップにつながっている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
会社が提示した研修のみの参加になっている。「気づき」が甘く、「予測」した行動がとれない。専門的なスキルアップが必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自分たちで、勉強したいテーマを探し、研修に参加する。自分たちで、勉強したいテーマでの勉強会を開く(他事業所も一緒に)。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月 7日 (20:17~20:20)
------------------	-----	---------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	上野 藤岡 三永 中野 若山 山本 栗国 戸井 西森
--------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	5			11
②	虐待は行われていない	4	7			11
③	プライバシーが守られている	2	9			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	5	1	1	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	8			11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
個人情報外へ漏らさない。個人情報は外へ持ち出さないを徹底している。「不適切なケア」について、毎月のミーティングでテーマを上げて話し合っている。利用者に新たな傷やあざを発見した際には、介助中にできたものか、原因を明らかにし、ご家族へ報告し再発防止に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
虐待と思わず、接しているときがあるかもしれない(口調や表情など)。プライバシー保護に関しても、自分は大丈夫と思っても、利用者に不快感を与えているかもしれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「不適切なケア」に関する取り組みを継続し評価していく。	